

呉昭和高等学校閉校記念事業について

広島県立呉昭和高等学校同窓会

会長 曾根 誠治

呉昭和高等学校の関係者におかれましては、益々ご健勝のことと拝察いたします。

常日頃は、本校の教育活動並びに同窓会活動に、多大なるご支援とご協力を頂き誠に感謝申し上げます。

さて、ご存じのように残念ではありますが、本校は来年(令和6年)3月をもって閉校となります。募集停止の発表があった後は、同窓会、PTA、地域の各方面から学校存続への働きかけを粘り強く行いましたが、その声は中々届かず存続するには至りませんでした。

私事ですが、第1期生として、昭和58年に入学しました。校舎は建設半ばで7クラスでのスタートでした。野球部に所属し練習を始める前は、グラウンドの石ころ拾いが常でした。2年目には、後輩が出来、学校もずいぶん賑やかになりました。修学旅行での船旅では、黒潮に揺られた入浴は今でも忘れられません。そして卒業間際に出来た真新しい校歌に送られ、夢と希望を胸に母校を巣立ちました。

内容は多少違うかもしれませんが、誰もが青春の1ページを刻んだ3年間だったと思います。

本校は、6800有余名の人材を輩出し、それぞれが社会で活躍しています。閉校になることは、非常に残念でなりませんが、同窓生の心の拠り所としての同窓会があります。同じ学び舎で過ごした者同士が年代を超えて集う場所です。これからも同窓会は、絆を深める場として、その役割を未来永劫果たしていきたいと考えています。

そこで、創立40周年を我々の母校、同窓会の『新しい時を刻むスタート』にしたいとの思いから事業を計画しました。

事業内容は

- ①本校関係者並びに地元の皆様への感謝を表す行事及び催し
- ②創立以来41年の歴史をまとめた記念誌の発行
- ③学校の所在地を表す記念碑の建立

を3つの大きな柱として進めて参りたいと思います。

つきましては、出費多難の折とは存じますが、この趣旨にご賛同のうえ本事業の目的達成のため、同窓生並びに本校にゆかりのある方々からの格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今後も、皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。